

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中1-3	情報活用能力	生成AIと私たち「1：生成AIを知る」	オクリンクプラス キーワード集計
授業内容 生成AIはどういうものなのかを知る			ワークカード 意見カード ワークの回答・キーワード集計イメージ  提示資料（一部）  イラスト出典：いらすとや https://www.irasutoya.com/ 共有コード 共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む  pb01KVCYKRMX9NE1ACXH7YGSTW03
授業の流れ： - ワーク「生成AIはどのようなことに使えますか。例）こんな使い方をしたことがある、こんな使い方ができると聞いたことがある」について、マイボードに送られた「意見カード」を各自開き、意見を入力して、みんなのボードに提出する。意見を複数出す場合は、カードを複製して作成する。 - 全体で、キーワード集計で多く出た言葉を把握した後で、どのような意見があるのかを確認する。 - 検索機能で表示された内容がAIによって生成されたものであった、など、使っているつもりがなくても知らないうちに生成AIを使用している場合があることを知る。 - 全体で、提示資料をもとに先生の説明を聞き、生成AIの利便性や、年齢制限、プロンプトについての理解を深める。 - 自治体や学校の資料をもとに、生成AIの利用ルールについて全体で確認する。			
サポートおすすめポイント - 年齢制限があることや、入力した情報が生成AIの学習に利用される可能性があることを知らずに生成AIを個人で利用している子供がいることを想定し、生成AIを使ったことがある子供も、生成AIを使ったことがない子供も、まずは生成AIがどのようなものなのかを知ります。 「2：生成AIの仕組み」、「3：生成AIの活用とモラル」の事例も併せてご活用ください。			

[illegible]

Revised manuscript received 12 November 2007; accepted 12 November 2007

Copyright © 2010 John Wiley & Sons, Ltd.

©2009年1月26日星期三

プロンプトの例2のように具体的に指示す